

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄



地域の皆さまと
共に歩みます

発行所 高橋みなお事務所
高崎市東貝沢町2-32-6
電話 027-363-2733

安心・安全に暮らせる 力強い高崎市の発展を！

新年明けましておめで
とうございます。皆様には、健やかに新春をお迎
えのことと存じます。昨
年三月十一日に発生した
東日本大震災や福島第一
原発事故を思うと、果た
してこのご挨拶をしてよ
いものかと心を悩ませま
した。

しかし、被災地の皆様
や様々な厳しい状況の中
で希望と夢を持って新し
い年を迎えておられる
方々に敬意を表し、今年
こそ幸せな一年にとの願
いを込めてご挨拶申し上
げます。

また、後援会をはじめ
とする地域の方々、日頃
より市政活動にご協力を
いただいております皆様
の温かいご支援を賜り、
市議会議員選挙において
四期目の当選を果たすこ
とができましたことに感
謝申し上げます。

さて、原発事故の収束
にはまだまだ時間がかか
りそうです。復興へと少
しずつ歩み始めた被災地
においても地方自治の建
て直しは大きな課題で
す。
復興に国の支援が不可
欠なことは当然ですが、

市町村も自分たちのまち
づくりのプランを強力に
発信し、国は地元が使い
やすい制度を整え、権限
と財源を与えて任せるこ
とも必要ではないでしょ
うか。

多くの地方自治体や本
市の財政状況においても、
法人市民税における不安
要素、社会保障関係費の
増加による財源不足、中
核市移行に伴う新たな財
政需要も見込まれ、基金
の減少などの厳しい財政
運営が予想されます。

「変革の時代」のまっ
ただ中であって、本市が
中核市として県下最大の
都市として飛躍し発展を
遂げていくためには、安
定した財政運営が求めら
れていると言えるでしょ
う。

本市施策として、ビジ
ネス立地奨励金制度の創
設による企業誘致、原発
事故の風評被害に伴う農
家支援措置など市長の公
約であった「スピード感」

のある施策の実施につい
ては評価をする一方で、
競馬場跡地の活用方法や
首都圏バックアップ機能
の拠点整備などの具体的
提案について情報が伝
わってこないことを、議
場において発言させてい
ただきました。

これからも市民の皆様
と一緒に誰もが安心して
元気に暮らせるまちづく
りを創造するため、初心
を忘れず、全力で議会活
動に取り組みますので、
本年も変わらぬご指導・
ご支援をよろしくお願
いいたします。

『夢を持てる高崎市に』

後援会長 工藤 誠

新年明けましておめ
とうございます。会
員の皆様におかれまし
ては、ますますご盛栄
のこととお慶び申し上
げます。

も影響があつたものと
思われます。
新市長が誕生し、市
民や市政にとつても新
しい高崎市がスタート
しました。経済活性化
と市民が夢を持てる高
崎市を実現するために
は、実行力と実績があ
り邁進し続ける美奈雄
議員の出番と確信して
おります。

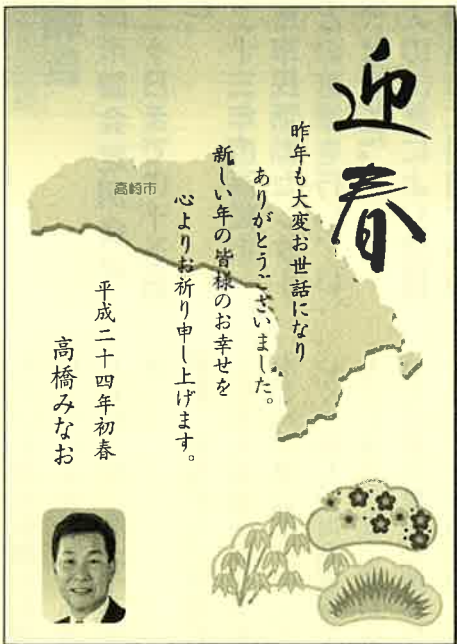
また、日頃より高橋
みなお後援会の活動に
ご理解とご協力をいた
だき心より感謝申し上
げます。

さて、昨年四月には

多くの皆様に多大なお
力添えをいただき、四
期目の当選を果たすこ
とができましたことに
重ねてお礼を申し上げ
ます。

後援会としても皆様
の声に耳を傾け、活動
しやすい環境を整える
よう努力してまいりま
すので、これからも温
かいご指導、ご支援を
賜りますようお願い申
し上げます。

東日本大震災の発生
により、皆様の生活に



迎春

昨年大変お世話になり
ありがとうございました。
新しい年の皆様のお幸せを
心より祈り申し上げます。

平成二十四年初春

高橋みなお



十二月定例議会報告

平成二十三年第六回市議会定例会は、十二月六日から十二月二十日までの十五日間の会期で開かれました。

本定例会では、平成二十三年度高崎市一般会計補正予算、高崎市市民活動センター条例の制定についてなどの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問は、二十五人の議員により四日間行われ、高橋みなお議員は二日目に登壇し、質問を行いました。以下概要を報告します。

◎本市の新年度予算と重点事業 更なる高齢者福祉の充実に向けて

質問 多くの地方自治体や本市の財政運営が厳しい中で、富岡市長就任後初めての新年度予算については、議会各会派からも多岐にわたる要望を示させていただいた。

「新しい高崎」の理念と基本政策を基に事業が計画されると思うが、どのような特色のある予算編成に取り組んでいるのか。
答弁 市長の公約を具現化する予算と考えてい

る。

商工業の土台を力強いものとし、都市整備では優先度を考慮し焦点を絞った予算措置を行う。

まちに賑わいを創出する予算にしたい。

質問 将来にわたり財政の健全化を維持するためには、自主財源の確保が必要であるが取り組みは。

答弁 歳出削減と新たな財源の創出をセットで考えている。一般事業費の10%削減に取り組み、重点事業に必要な財源を配分したい。

質問 市長は、仕事に対して意欲を持って取り組

んでいる部局や職員を期待しているのではとも感じられるが、考えや真意は。

答弁 抜本的な予算見直しと市民福祉や雇用対策などへの重点配分をしていく。厳しい財政状況でもビジネスを底上げしないと将来の税収に結びつかない。予算の削減を事業の縮小に繋げず、重点的の事業に使いたいと考えている。

質問 市長の基本政策に沿った組織強化が進められていると思うが考え方は。

答弁 組織のスリム化と職員数の抑制に努め、部局横断的に迅速な対応を図り、効率的な執行が可能となるよう、本庁・支所を問わず組織の統廃合や民間活力を活かした調整を行っている。

質問 高齢者が可能な限り住んでいる地域から離れずに、必要な支援を受けて生活できるような具体的な施策への取り組みは。

答弁 地域ぐるみで高齢

後記

者を見守る地域包括ケア体制の構築が重要と考えている。地域包括支援センターを中心に区長、民生委員、地域の医療機関等と連携してネットワーク

クの構築等に取り組みたい。
質問 中心市街地に若者や学生と高齢者が一緒に居住する住宅について進展はあるのか。

う。

昨年は、暗く悲しい話題が多かった一年でした。かつてないほどの困難に直面する今だからこそ、元気を、明るさを取り戻したいと感じているのは私だけではないでしょう

昨年十一月に開催された全日本小学校バンドフェスティバルにおいて、東部小学校が「金賞」を受賞したことは私たちに大きな感動と勇気を与えてくれました。厳しい練習や困難を乗り越え、最

答弁 多世代が居住できる住宅と各種福祉施設が入る施設を中心市街地に建設する方向で検討し、計画策定を急いでいる。
高の笑顔で演奏した子どもたちに最大級の拍手をおくりたいものです。
さて、「みなお通信」もおかげさまで第50号をお届けすることができました。

災害対策特別委員会開催記録

委員長として指導力を発揮！

各部署からの報告や質疑応答、管内視察実施のほか、民間企業の積極的な取り組みを学ぶため研修会を開催し、市民の皆様には正しい情報が発信できるよう活動

【主な民間企業研修会】
◎東日本電信電話株式会社群馬支店
「災害時の情報確保への取り組み」

◎東京電力株式会社群馬支店
「今冬の電力需給見通しについて」



市政相談連絡先

☎370-0041
高崎市東貝沢町二丁目32-6
TEL&FAX:027-363-2733
E-mail:minao.t@jcom.home.ne.jp